

# 高校生にできること～公民館コラボ企画を通して～

岡山県立倉敷古城池高等学校

## 1. 課題

特に小中学校までの子供たちの体験や学習の機会は家庭環境に大きな影響を受けており、核家族化や共働き、経済格差などによりその差が広がりつつある。

## 2. 私たちが考えた解決策と実践

保護者の引率なしで、誰でも気軽に参加できる公民館を利用して、子供たちが様々な経験ができるよう講座を企画・運営する。

### ボッチャ体験

パラリンピックの競技でもあるボッチャ。老若男女誰でも楽しめる競技。



スポーツは人と人の距離を縮め、地域の活性化につながります。また日々の生活でも、人の助けになることを考える機会をもてた。

### フードロス出前講座からのサルベージパーティー

子ども食堂に参加し、毎日の生活が苦しく食べることに困っている人がいる一方、日本では多大なフードロスが起きている現状を知る。



小学校での『フードロス出前講座』 “少しの意識が世界を変える”  
フードロスについて地域の子どもたちと一緒に考える機会。



### サルベージパーティー

サルベージパーティーとは、家で余っている食材をみんなで持ち寄って料理し、できた料理をみんなで食べること。

= **フードロス解消&調理することの楽しみを体験**

地域の方々、倉敷市健康づくり課の方々のご協力のもと、フードロスについて考えました。異年齢の子どもが集い学ぶ良い機会とまりました。



### お習字お助け隊

小中学生にとって、“書き初め”は冬休みの宿題の強敵です。

そして、それは、きっと保護者にとっても大きな負担感があるはず。

高校生が教える単発講座なら、お習字を習っていない人でも、気軽に参加できるはず。

少しでも上達もできれば、きっと“書き初め”も楽しくなるはず！

そんな思いを込めて企画した「お習字お助け隊」です。

児童一人に高校生先生が一人ついての実技指導。

絵しりとりやアイスブレイクの後、1時間余りの練習。

そして、この日、最初に書いた作品と一番良い出来の作品を比べる鑑賞時間。

参加した子供たち全員が“うまくなった！”と喜んでくれました。

参加した理由は？

- 字をきれいに書きたかった
- 親の勧め
- 宿題が一つ終わるから
- 楽しそうだったから



## 3. まとめ

公民館講座は、保護者同伴なしで参加ができ、参加費も安価であるため、幅広い子どもたちの参加が可能となる。地域の教育力の低下が叫ばれている中、公民館講座の意義は高まっている。本校では、“わっしょい！トーカーズ！”として、たくさんの生徒が、地域を盛り上げるために、この公民館講座の企画・運営に、長年携わってきた。公民館講座で、私たち高校生ができることはたくさんあると考えるが、先輩方の積み重ねてきた活動を継承していくことは難しいと実感している。今後も、地域の子どもたちの様々な体験や学習の場を作るために、公民館講座の企画・運営に関わっていきたい。